

神奈川区羽沢南・保土ヶ谷区上星川地区 におけるオンデマンド交通の実証運行 について

よこはま次世代型交通システム推進協議会
横浜市 道路・交通政策局 地域交通推進課

目次

1. 対象地区の概要
2. 取組の背景・目的
3. 移動動向アンケート結果
4. 実証運行概要
5. 運営組織について
6. 事業スケジュール

1.対象地区の概要① 位置・人口等

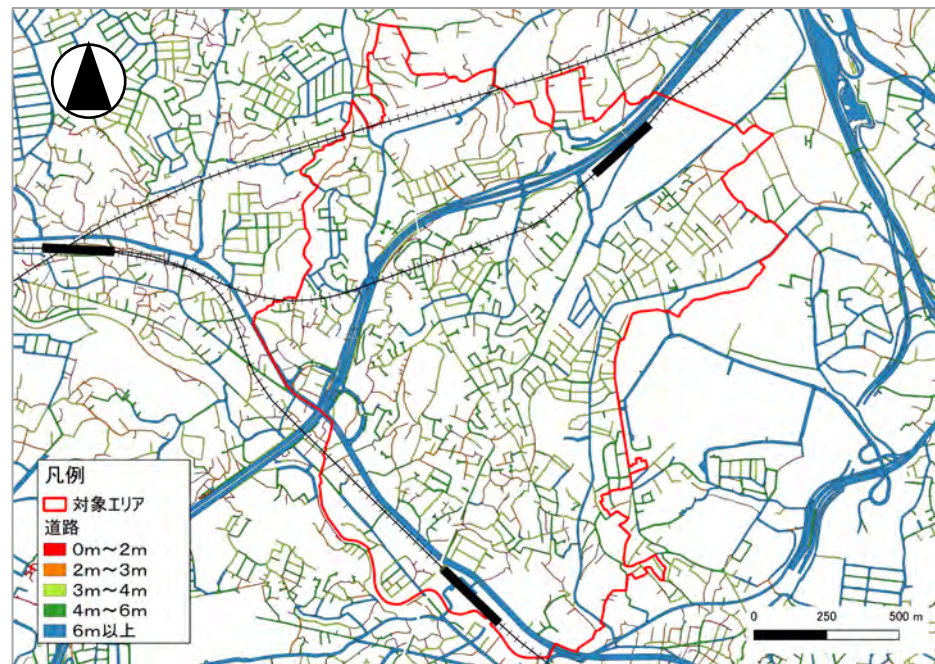
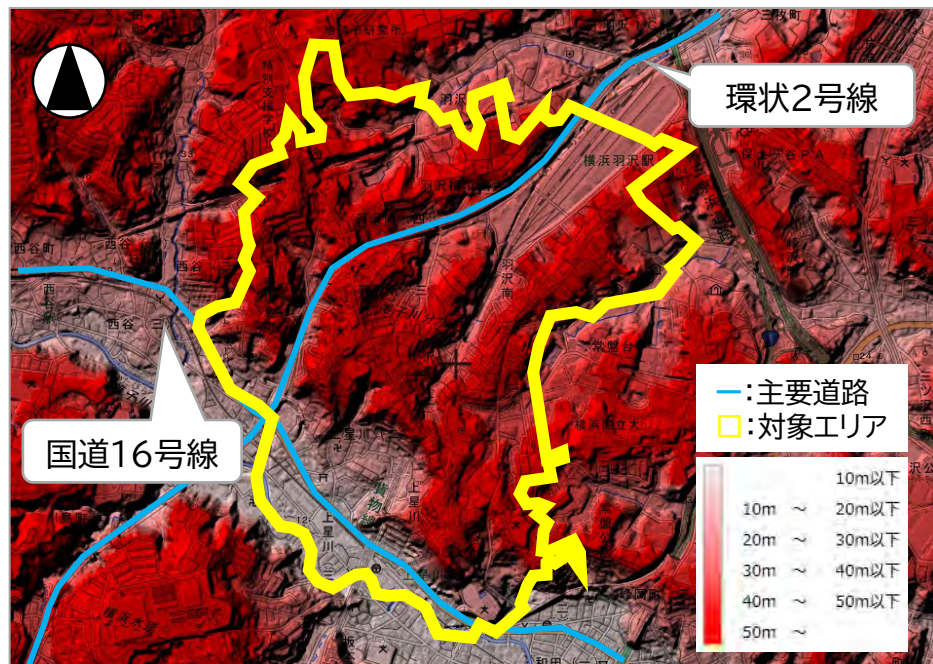


- 神奈川区と保土ヶ谷区にまたがるエリア
- 羽沢横浜国大駅と上星川駅をエリア内に含む

対象エリア	
面積	2.24km ²
人口	22,626人
人口密度	10,085人/km ²
世帯数	11,116世帯
高齢化率	21.9%

【参考】横浜市:25.5%
神奈川区:21.8% 保土ヶ谷区:27.1%(令和7年1月)

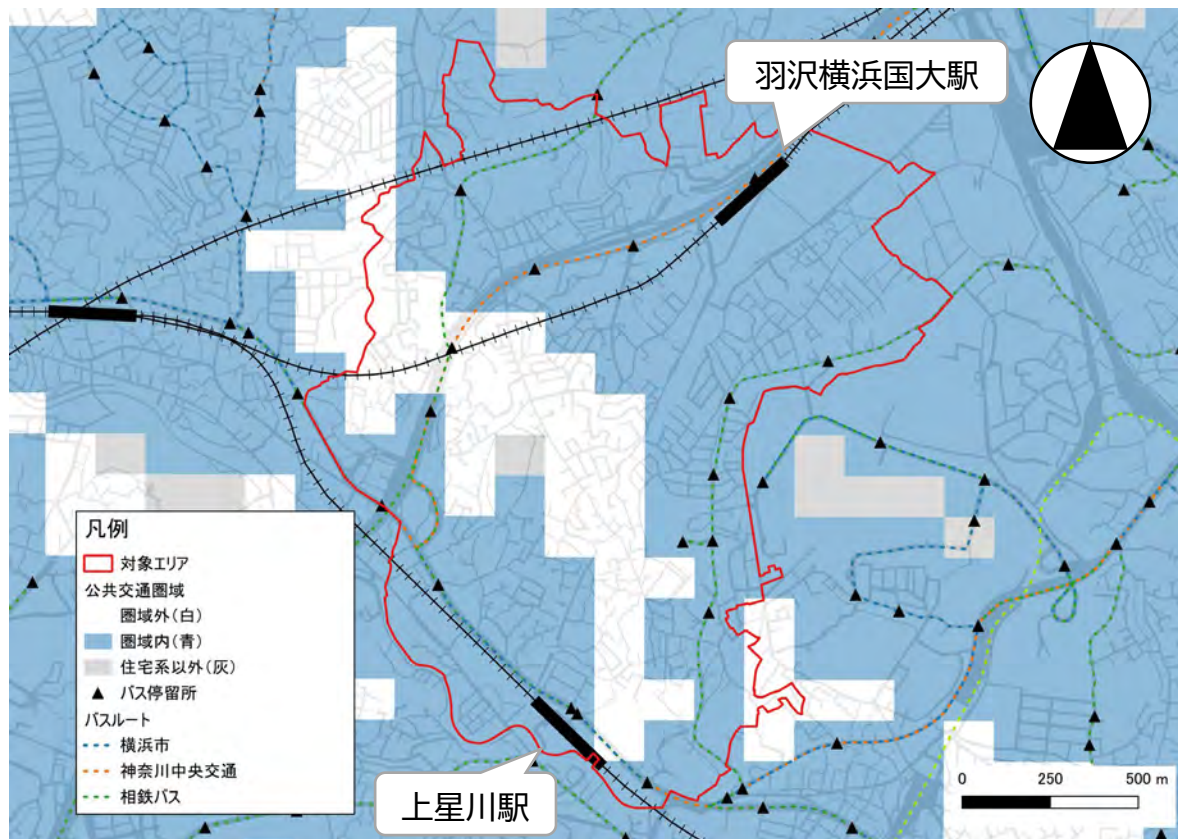
1.対象地区の概況② 標高・道路幅員



- 起伏の多い地形
- 主要道路(国道16号線)と地区の高低差は最大約70m

- 道路幅員は4.0m未満が多い。

1.対象地区の概況③ バス路線状況と公共交通圏域



- ・地区内及び地区周辺を
相鉄バスが運行
(一部、市営と神奈中も運行)
- ・地区内には、
公共交通圏域外が含まれている。
- ・道路幅員が狭く、起伏も多いことから、
最寄りの駅までのアクセスが悪い

2.取組の背景・目的（地域の課題）

- エリア内には起伏が多く、中心部付近は鉄道駅やバス停からも距離があるため、高齢者は徒歩による移動が困難。
- 公共交通圏域外があるが、狭隘な道路が多いため路線バスでの運行が困難。
- 地域内から羽沢横浜国大駅、上星川駅までのアクセス手段が限られている。
- 対象エリアが2区にまたがっており、関係する自治会・町内会の数が多いため、地域主体での取組が困難。（2区5連合13単会）



一般社団法人北陸SDGs総合研究所を含む取組主体より
横浜市の共創フロント※にオンデマンド交通導入を提案

※共創フロント

民間事業者からの公民連携に関する相談・提案を受け付けている窓口
政策局（現在は行財政局）が所管

2.取組の背景・目的（オンデマンド交通の導入）

路線バスのようにバス停とバス停を結ぶ乗合型の特徴と、
タクシーのように予約に応じた運行かつ着席可能といった特徴の双方をあわせもった交通サービス

■メリット

- タクシー車両で運行するため、狭隘道路でも運行が可能。
- AIが最適な経路を算出することで、必要な時間に広範囲のエリアにおける需要に対応することが可能。
- エリア内には多数の乗降場を設置できるため、乗車前・降車後の移動が容易。



道路幅員が狭く、大型車両を用いた路線バス運行では解決が困難な交通課題を解決するため、
路線バスとは異なる新たなモビリティ“**オンデマンド交通**”が適していると考える。

2. 取組の背景・目的（取組経緯）

- 令和6年3月 一般社団法人北陸SDGs総合研究所を含む取組主体が横浜市の共創フロントにオンデマンド交通導入を提案
横浜市から候補となる地区を提示し、対象とするエリアを調整
→当該地区を取組地区に選定
- 令和7年7月～9月 5連合13自治会 オンデマンド交通について説明
- 令和7年11月～1月 移動動向アンケート配布・回収
- 令和8年2月 移動動向アンケート結果の報告
- 令和8年2月～4月 運行計画案の検討

3.移動動向アンケート結果

調査年月:令和7年11月~1月

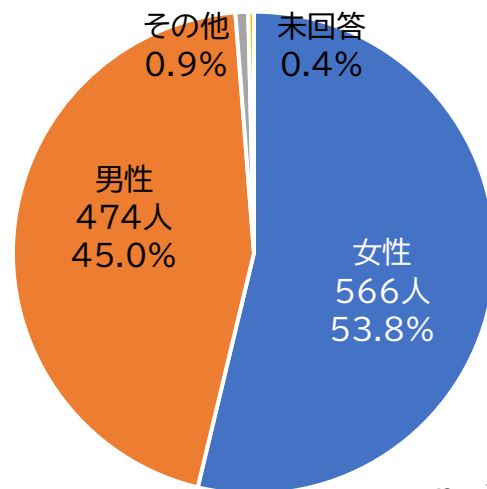
対象自治会:5連合13自治会

配布数:8,145枚

回答率:12.9%(1,053回答)

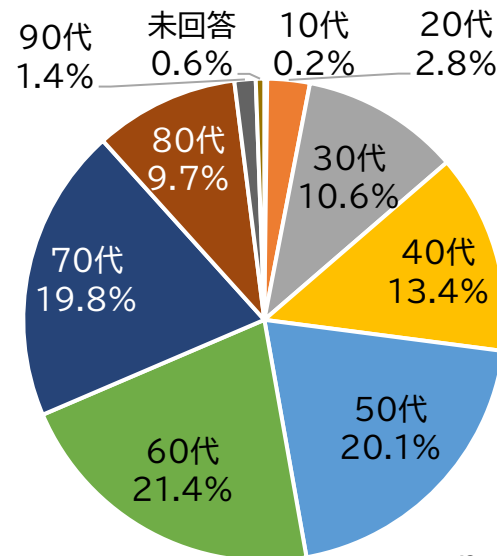
回答者属性

性別



n=1053

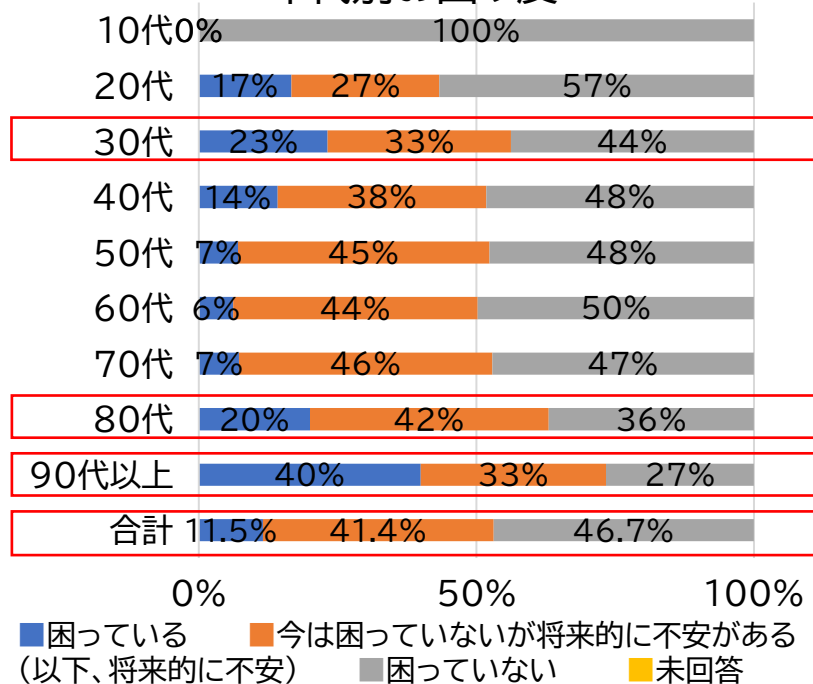
年代



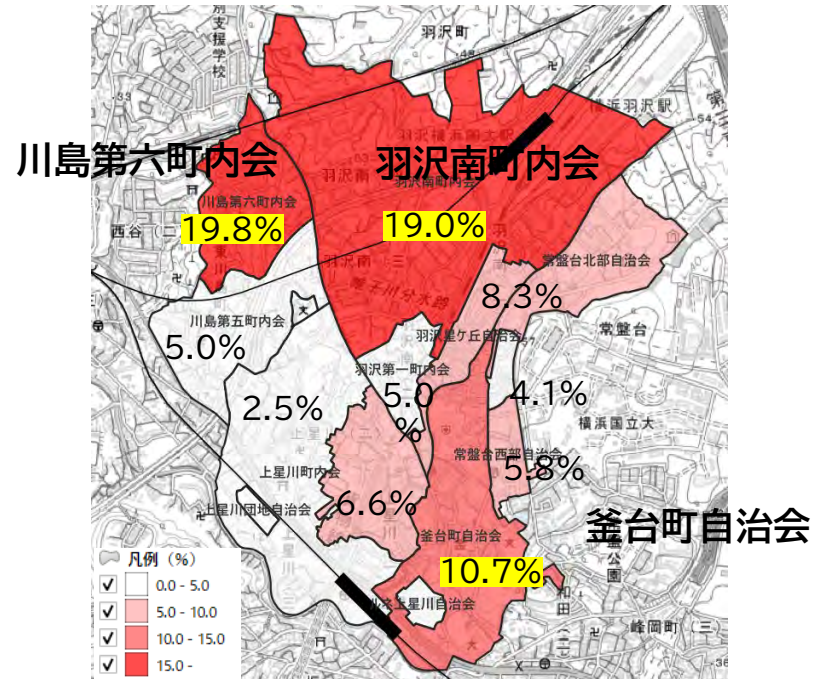
n=1053

3.移動動向アンケート結果 Q.日常の外出で困っていますか。

年代別お困り度

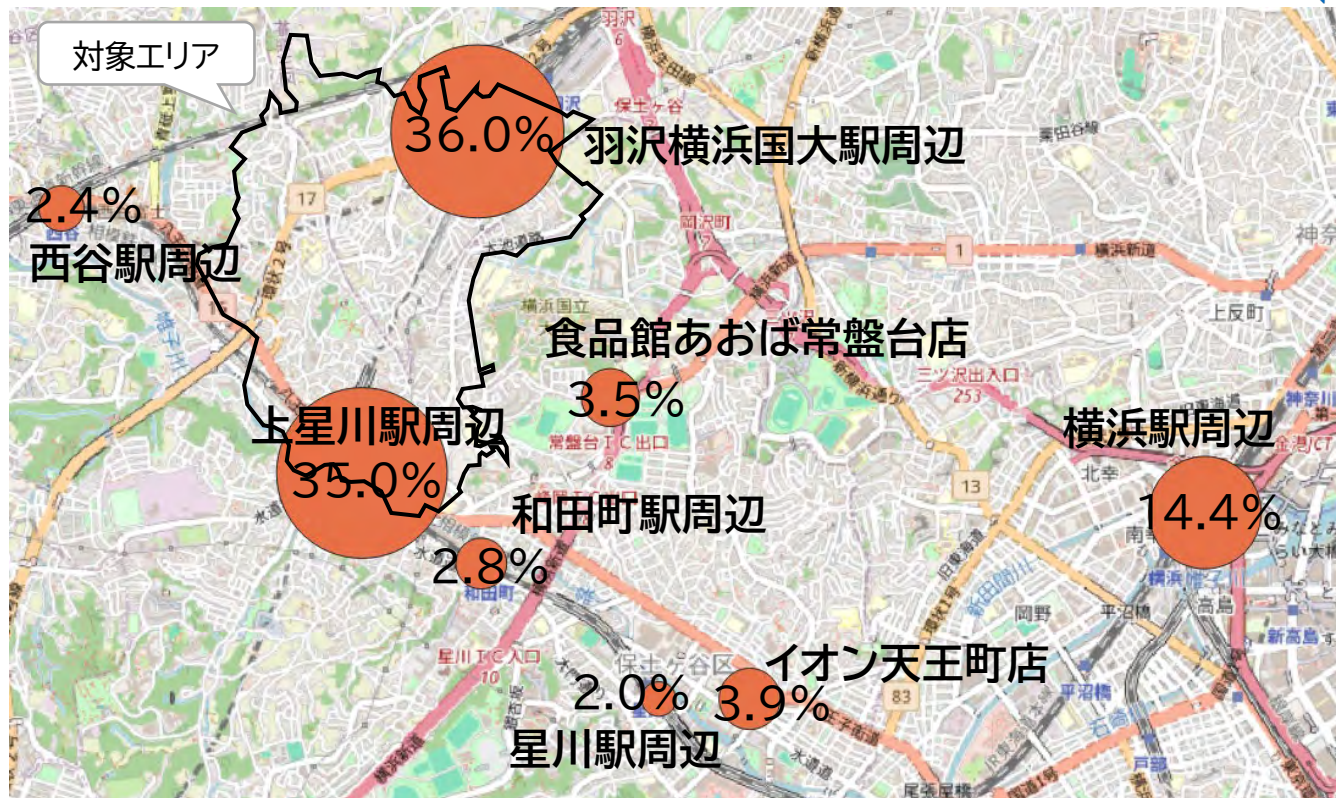


自治会別お困り度



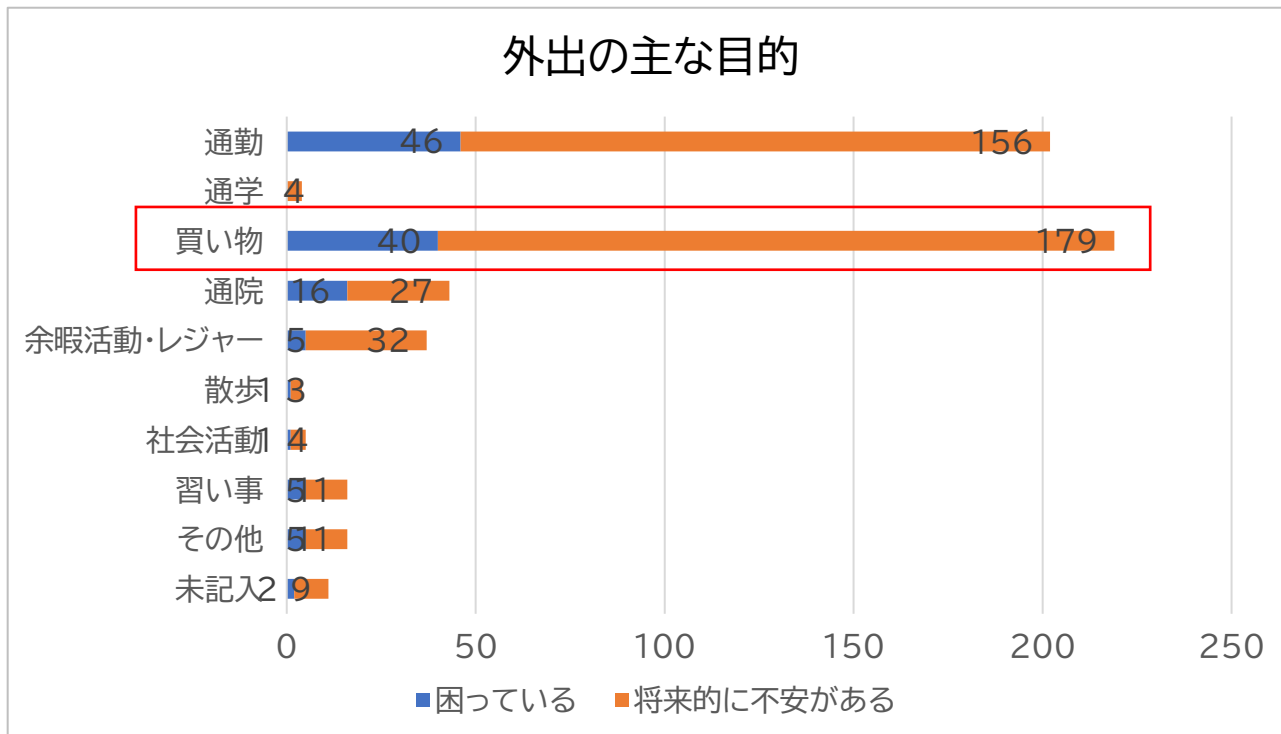
- 合計でみると「困っている」と「将来的に不安」を合わせると約5割で、日常生活で不安を抱えている人が約半数いる。そのうち、30代、80代、90代が特に「困っている」と回答した割合が高い。
- 「困っている」と回答した人の割合が高い自治会は「川島第六町内会」(19.8%)、続いて「羽沢南町内会」(19.0%)、「釜台町自治会」(10.7%)だった。

3.移動動向アンケート結果 Q.日常の外出先をお答えください。



- よく行く外出先は羽沢横浜国大駅周辺が最も多く、続いて上星川駅周辺が多い。
- 対象エリア周辺では食品館あおば常盤台店が多い。

3.移動動向アンケート結果 Q.外出の主な目的を選択してください。※



※困っている、将来的に不安があると回答した人のみ抽出

- 外出目的は「買い物」が最も多い。

3.移動動向アンケート結果

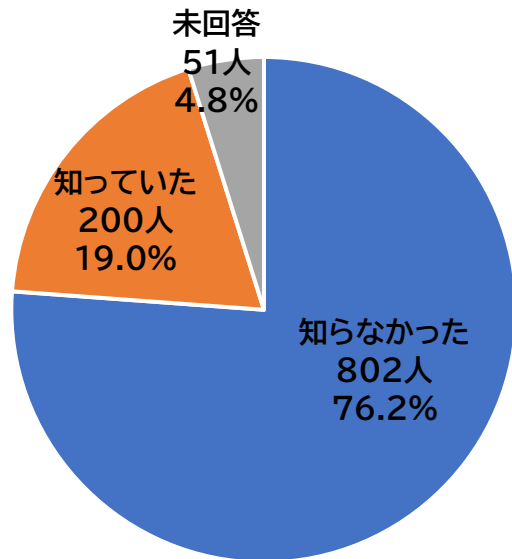
Q.オンデマンド交通を知っていますか。

Q.運賃が300円から500円の場合、利用したいと思いますか。



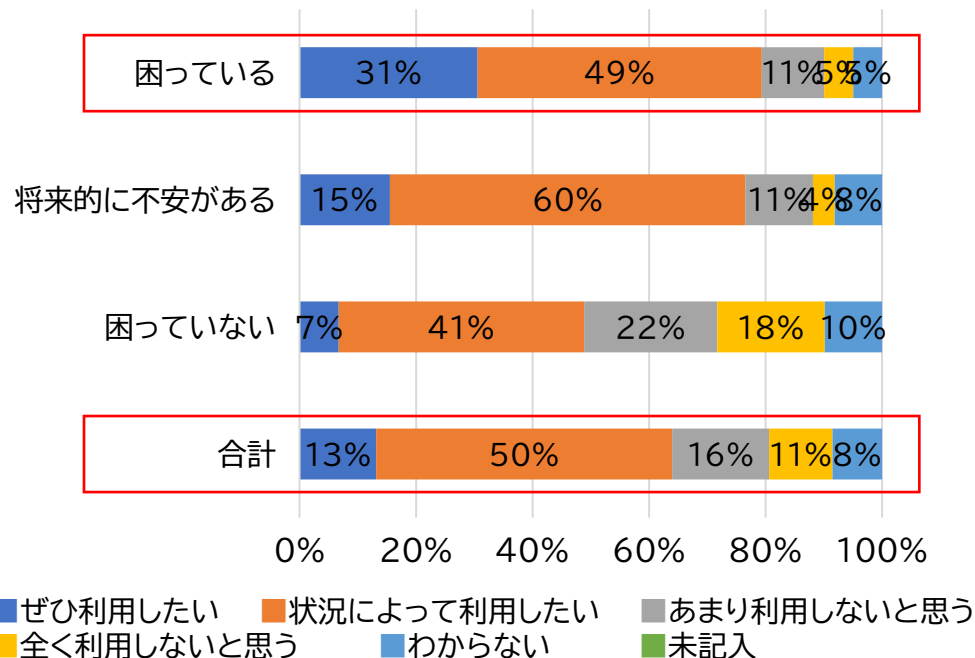
横浜市

オンデマンド交通認知度



n=1053

オンデマンド交通期待度(お困り度別)



- オンデマンド交通について、「知らなかった」の回答者割合が約7割。
- 期待度としては「ぜひ利用したい」、「状況によって利用したい」の回答者割合が合計で約6割おり、「困っている」の回答者では約8割。

4.実証運行概要

項目	内容
取組主体	よこはま次世代型交通システム推進協議会 (代表企業:一般社団法人北陸SDGs総合研究所)
運行形態	デマンド型
運行事業者	三和交通株式会社
運行期間	令和8年9月から2年間を予定(土・日・祝日と年末年始を除く)
運行時間	8:00~17:00(途中1時間の休憩を含む)
事業許可	道路運送法第21条による乗合旅客運送(区域運行)
運行エリア	神奈川区羽沢南・保土ヶ谷区上星川地区および横浜国立大学等
乗降場所	40か所を予定
運賃	大人:400円(敬老パス提示で200円、福祉パス・特別乗車券提示で無料) 小児:200円(未就学児無料)
予約方法	専用のスマートフォンアプリまたは電話にて予約
使用車両	ジャパントクシー1台(乗客定員 4名)
想定運行費用	約1,200万円(1年間)
その他費用	約720万円(システム、利用促進等)
本市補助額(1年目)	運行費用から運賃収入等を差し引いた額を全額補助 ※その他費用は別途補助

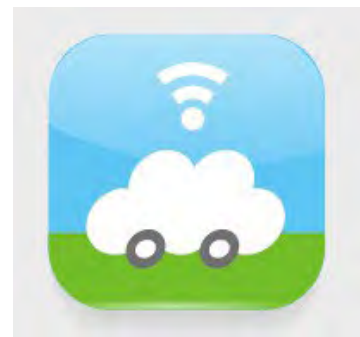
4.実証運行概要

名称:ふらっと羽沢・上星川

横浜国立大生に募集した。

ふらっと気軽にと、坂道を気にせず(FLAT)に出かけられるという意味合いが込められている。

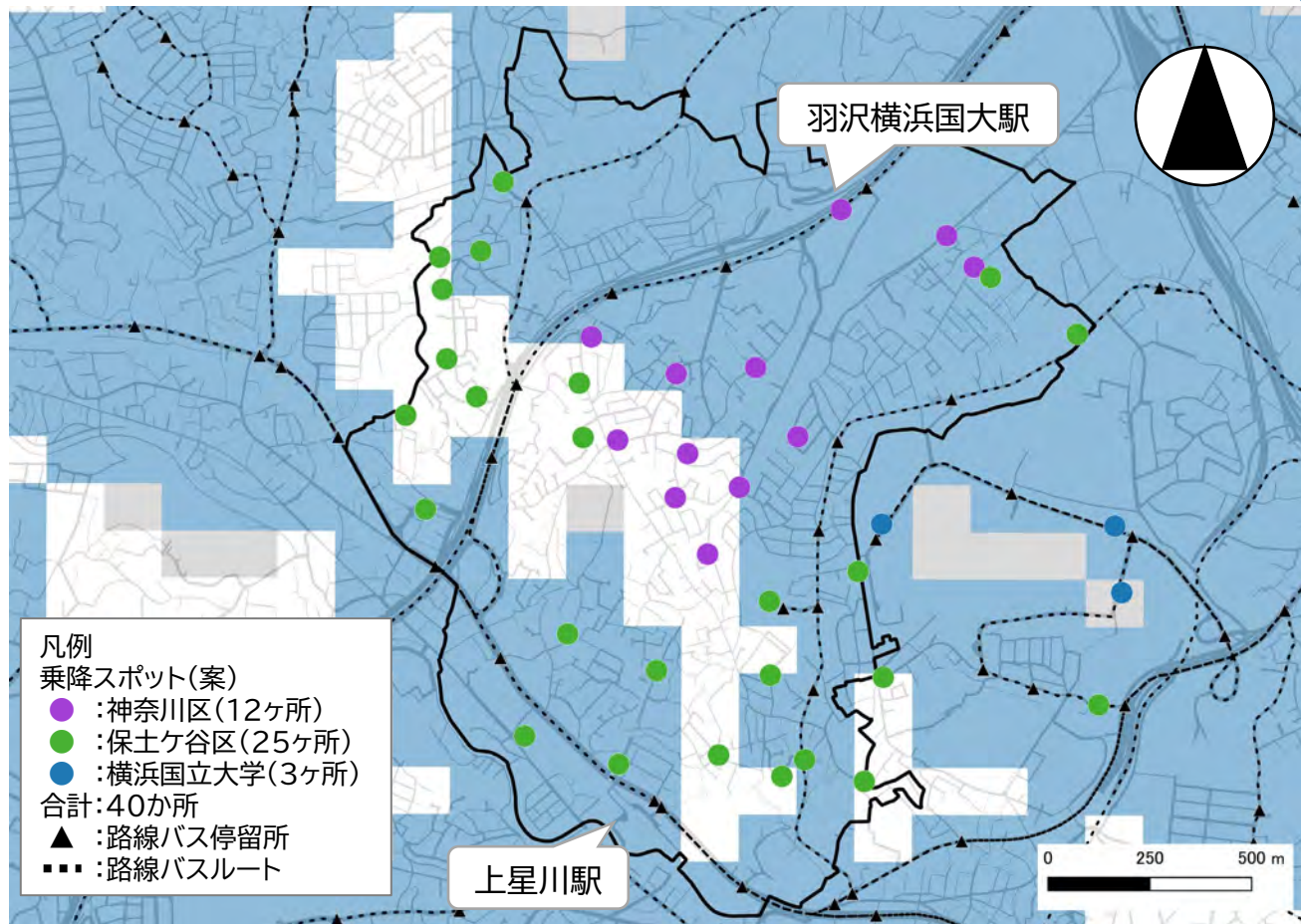
デザイン:



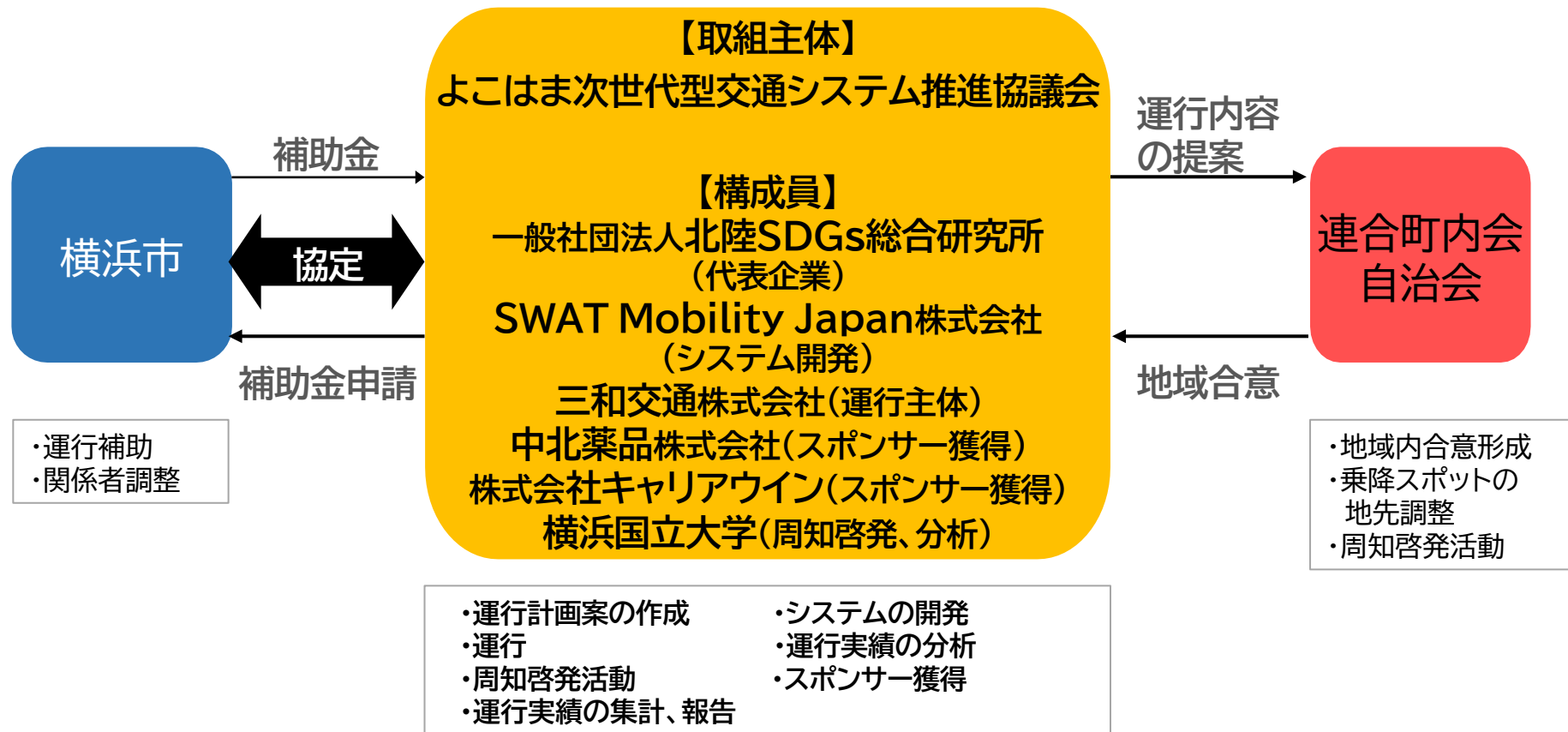
アプリアイコン

フラットな地平線を境に、青空と緑をイメージしたカラーを配置。
地域内を運行する車両を雲に見立ててデザインされている。

4.実証運行概要（運行エリア・乗降場所）



5.運営組織について



5.運営組織について

一般社団法人北陸SDGs総合研究所とは

- 令和2年8月に北陸大学の教員らにより設立された団体。
- 住みやすい地域社会の実現を目指して組織化され、中でも交通をまちづくりのかなめとして位置づけており、その取組の一環として、オンデマンド交通サービスの導入・運行に携わっている。

オンデマンド交通の実績

- ・ 金沢市「すいっとカナザワ」
- ・ 輪島市「のらんけ+(プラス)」



すいっとカナザワ



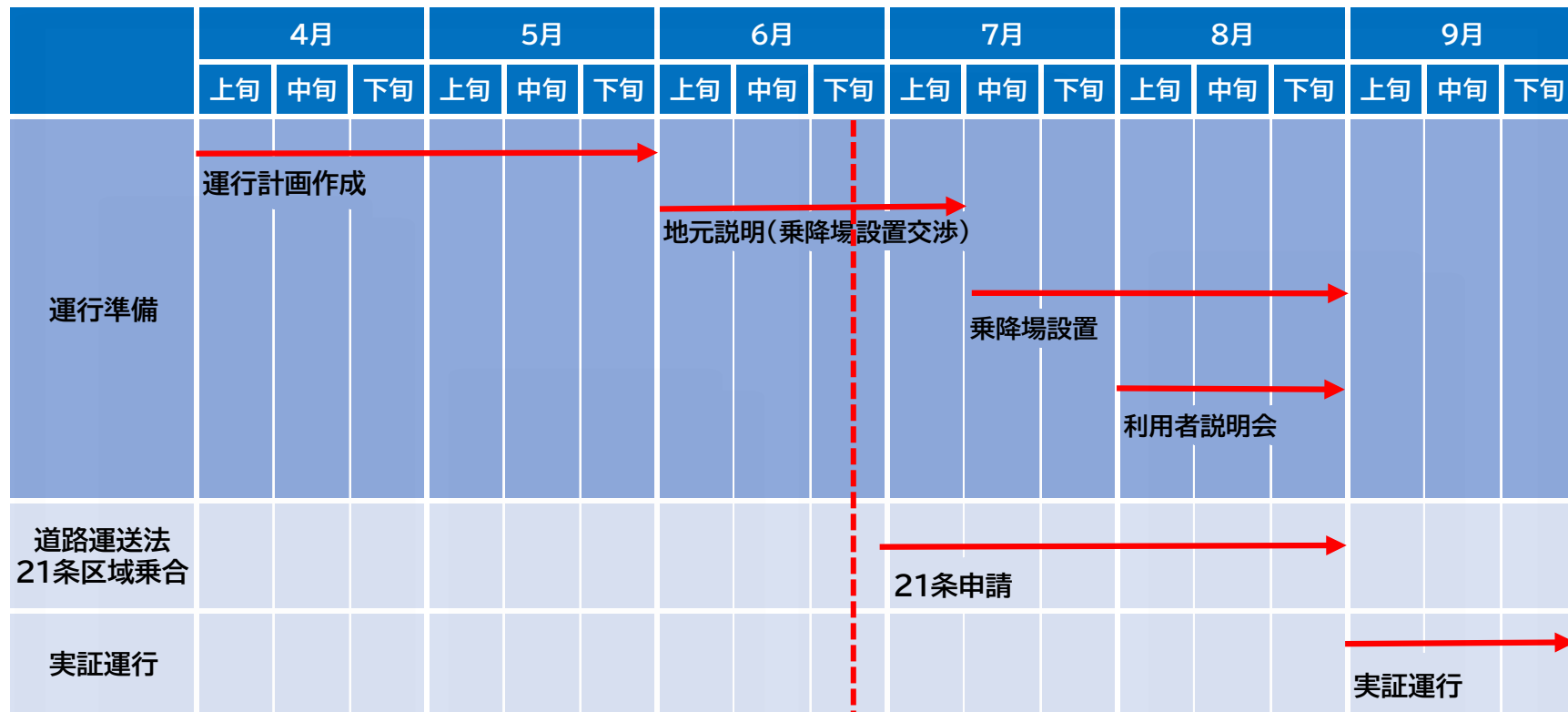
のらんけ+

連携協定企業

SWAT Mobility Japan、中北薬品、第一生命、花王など（他20社）

6.事業スケジュール

実証運行開始後は利用データを基に、運行エリア・乗降スポット・運賃等を適宜見直す。



地域公共交通会議
(本日)